

■欧州：2008年のEU-ETS対象施設の排出実績は対前年比3%減

欧州委員会は2009年5月15日、欧州排出量取引（EU-ETS）の対象施設による2008年の温室効果ガス（主にCO₂）排出実績を発表した。その中で、2008年の排出実績は、対2007年比で3.06%減少したと報告されている（対象は2007年と2008年の実績が確定している26カ国の対象施設からの排出量）。あわせて、欧州委員会は、EU全体の2008年におけるGDPが0.8%の成長を記録しながら、排出量は減少している事実を指摘した。その上で、欧州委員会は、経済活動の停滞に伴う影響もさることながら、対象施設の排出削減に向けた措置が、排出量の減少につながったとの考えを示し、EU-ETSによる温室効果ガス削減の成果が現れ始めたことを強調した。